

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【公開番号】特開2015-220478(P2015-220478A)

【公開日】平成27年12月7日(2015.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-076

【出願番号】特願2014-100229(P2014-100229)

【国際特許分類】

H 04 N 5/74 (2006.01)

H 04 N 5/66 (2006.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/74 Z

H 04 N 5/66 D

G 03 B 21/14 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月14日(2017.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、付加レンズ70は、アスペクト比16:9の画像を2.35:1のシネマスコープサイズに画角を拡大するアナモフィックレンズを想定するが、これには限定されない。また、集光特性が直交する2方向で異なるトーリックレンズやシリンドリカルレンズ等の非軸対称レンズや、画像光を半球状の投写面に投写する魚眼レンズ等も想定できる。

装着検出部58は、投写光学系66に付加レンズ70が装着されたことを検出し、装着を示す装着信号をOSDモード決定部42に送る。本実施形態では、押圧スイッチや光電スイッチ等で付加レンズ70の着脱を検出する様子を想定するが、これには限定されない。例えば、投写画像を撮影するためのCCDカメラをプロジェクター10が備える場合、CCDカメラが撮影した投写画像のサイズ等を解析して付加レンズ70の装着を判断しても良い。尚、装着検出部58は検出部に相当する。